

令和7年度の重点課題

○客観的指標から見取った課題
「新体力テスト」の結果から「長座体前屈」と「50m走」の項目で男女ともに全国・県平均を下回っていた。

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

○業間に「マラソン」「縄跳び検定」を実施した。児童が自分で目標を立てて、意欲的に運動に取り組むことができた。
○「先生に挑戦」の活動を通して「する・見る・支える」の視点から、スポーツに多様な関わり方があることを理解し、興味関心を深めた。

令和7年度新体力テストの結果(総合評価割合)

*全校児童が比較できる
最も新しいデーター

総合評価(A～E)割合と体力合計点平均値まとめ(男女学年別、全体)

学年 性別	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
A	0	0.0%	1	16.7%	1	25.0%	0	0.0%	1	33.3%	1	14.3%
B	3	100.0%	3	50.0%	2	50.0%	1	20.0%	1	33.3%	3	42.9%
C	0	0.0%	2	33.3%	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%	3	42.9%
D	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%
E	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%
計	3	100.0%	6	100.0%	4	100.0%	5	100.0%	3	100.0%	7	100.0%
体力合計点 学年平均(男女別)	24.40	22.00	38.50	37.00	48.75	42.00	50.25	48.00	56.00	58.29	58.40	66.75
体力合計点 学年平均	23.20		37.75		45.38		49.13		57.14		62.58	

全体				
性別	男子	女子	合計	
A	3	3	6	12.5%
B	10	9	19	39.6%
C	8	11	19	39.6%
D	2	1	3	6.3%
E	1	0	1	2.1%
計	24	24	48	100.0%
体力合計点 学年平均(男女別)	46.05	45.67		
体力合計点 学年平均	45.86			

AB率
52.1%

(AB-DE)率
43.8%

ED率
8.3%

重点課題に対応した改善のための取組内容及び方法

○課題改善の取組として、

- ①日常的に意識させる取り組みを入れる。(健康観察時のグーパー体操)
- ②業間に「マラソン」「縄跳び検定」などの取組を取り入れ、日常化を図る。
- ③校舎内・教室内に運動コーナーを設ける。
- ④長期休業を含めて、家庭でも可能な取組を工夫する。

○検証の指標

- ①学期末に「長座体前屈」と「50m走」の記録を測定
1学期の新体力テストの数値を上回った児童の割合85%以上
- ②総合評価のDとEの割合20%以下
- ③学校評価アンケートの実施

重点課題

○R7年度の重点課題による結果考察

昨年度の数値と比較して総合評価ABの割合は上回っているが種目別に見ると、どの学年も「50m走」と「長座体前屈」の項目で全国・県平均を下回っていた。

○R8年度の重点課題

新体力テストの結果から、①瞬発力②柔軟性を重点課題とする。R7年度は男女ともに、全国・県平均を下回る数値だったこと踏まえて、今年度は「瞬発力と柔軟性」の数値向上を目指して取り組んでいく。

また、体力づくり推進目標の「運動する楽しさを味わい、生涯にわたって運動に関わる意欲・能力を育てる。」の実現に向けて、スポーツに多様な関わり方を知り、深めることができるように指導していく。

令和8年度の目標値

- 学期末に測定した「長座体前屈」「50m走」の数値がどちらも目標数値を上回る児童の割合85%にする。
- 体力テストにおいて、総合評価のDとEの割合を20%以下にする。
- 学校評価アンケート「楽しみながら運動に取り組むことができた。」「運動やスポーツに関わる、取り組むことができた。」の項目で肯定的な回答80%以上にする。